



YOSHINO20th old heritage



参加無料
募集人数
300名

「吉野大峯」世界遺産登録20周年記念シンポジウムin東京

光る君の祈りをあなたに

令和6年

10月26日(土)

時間 13:30 ▶ 16:00 (開場: 13:00)

場所 時事通信ホール
(東京都中央区銀座5丁目15-8 時事通信ビル 2F)

●参加無料 ●要事前申込



国宝金峯山経塚出土紺紙金字経
(金峯山寺提供)



重要文化財 大峯山寺本堂

基調講演 龍谷大学 教授 杉山 洋氏

藤原道長が求めた浄土世界

パネルディスカッション

基調講演・パネリスト



龍谷大学 教授
杉山 洋氏

パネリスト



総本山金峯山寺管領
五條 良知 師

パネリスト



アーティスト
一般社団法人
カルチャープラス会長
相川 七瀬 氏

コーディネーター



フリーアナウンサー
吉野町観光大使
石田 紗英子 氏

主催：吉野大峯世界遺産登録20周年記念事業協議会

協議会加盟団体：奈良県、吉野町、吉野町教育委員会、金峯山寺、吉野山自治会、吉野山観光協会、吉野山保勝会、22世紀吉野桜を愛でる会、奈良県ビジターズビューロー、吉野ビジターズビューロー、南都銀行、近畿日本鉄道、奈良交通、岡村印刷工業、奈良トヨタ、現代奈良協会、なら文化交流機構、奈良新聞社、TOPPAN、東海旅客鉄道、日本郵便吉野部会、奈良県酒造組合、吉野青年会議所 (順不同)

事務局：吉野町役場 産業観光課 ☎0746-32-3081

「吉野大峯」世界遺産登録20周年記念シンポジウムin東京

光る君の祈りをあなたに

概要

日本独自の宗教である修験道の文化が色濃く残る「吉野・大峯」地域を含む世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて20周年の節目を迎えます。

紀伊山地は神話の時代より神々が宿る場所として崇拜された地であり、修験道の「吉野・大峯」、神仏習合の「熊野三山」、真言密教の「高野山」というように、それぞれの内容や起源を異にする3つの「霊場」とそれを結ぶ参詣道が生まれました。

これは世界でも稀有の資産として価値の高いものと言われています。

また、本年のNHK大河ドラマ「光る君へ」にも登場する藤原道長は、憧れであった金峯山（現在の山上ヶ岳）へ自ら参詣して経典を奉納したことを『御堂関白記』に記しています。

近年、その奉納した「紺紙金字経」の一部が金峯山寺内で発見され、本年3月、国宝に指定されました。

本シンポジウムでは、世界遺産登録20周年を迎えた「吉野・大峯地域」の歴史と価値を再認識するとともに、金峯山経塚の造営により世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」への礎を築いた藤原道長の栄華と信仰に関する現代的意義、更には今後の世界遺産吉野・大峯地域の保全と継承について考える契機とします。

プログラム

13:30 オープニング(法螺吹鳴)

13:35 挨拶

世界遺産登録20周年記念事業協議会 会長(吉野町長) 中井 章太
総本山金峯山寺 管領 五條 良知 師

13:45 基調講演

藤原道長が求めた浄土世界
杉山 洋 氏

14:35 映像紹介

14:50 パネルディスカッション

光る君の祈りをあなたに
パネリスト 五條 良知 師
杉山 洋 氏
相川 七瀬 氏

コーディネーター 石田 紗英子 氏

16:00 閉会

プロフィール



杉山 洋 氏(龍谷大学教授)

龍谷大学文学部教授。博士(文学)、九州大学・名古屋大学で考古学を学び、昭和56年奈良国立文化財研究所(現:独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所)入所。平城宮跡発掘調査部を経て、飛鳥資料館で考古遺物の展示を担当。国交省の平城宮いざない館の展示を担当するとともに、東院庭園の夜間イベントなどを通して、遺跡の利活用にも関わるようになる。カンボジアの遺跡修復にも携わる。令和2年より現職。著書に「浄土への祈り 経塚が語る永遠の世界」・『日本の美術 梵鐘』・「熊野三山の経塚」など多数。



五條 良知 師(総本山金峯山寺管領)

1964年、京都府綾部市生まれ。1996年に吉野山と山上ヶ岳(大峯山)片道24kmを前半50日は1日に片道、後半50日は1日に往復修行する大峯山回峰百日程満行。吉野から熊野まで世界遺産に登録された大峯奥駈道を行修行する東南院大峯奥駈修行をこれまでに33度修行し、大先達を勤めた。2016年から3年間、とも祈り八千枚大護摩供を修行し満行。現在金峯山修五條 良知 師 本宗管長、総本山金峯山寺管領、大峯山東院院主兼務。



相川 七瀬 氏(アーティスト・一般社団法人カルチャープラス会長)

1995年「夢見る少女じゃいられない」でデビューして以来、現在までCDトータルセールスは1200万枚を越えている。毎年7月7日には、「七瀬の日」と題したライブを17年連続で開催中。2012年より岡山県総社市、長崎県対馬市、鹿児島県南種子町の「赤米大使」として伝承文化継承の活動を続けている。伝承活動を応援するイベントとして、毎年、岡山県総社市備中国分寺前で「赤米フェスタ」と題した音楽フェスを主催している。2024年國學院大學神道文化学部を卒業、國學院大學大学院に入学し民俗学を専攻する。対馬市未来共創フェロー、栃木県文化財オフィサーに就任。



石田 紗英子 氏(フリーアナウンサー・吉野町観光大使)

奈良県出身。母の里が吉野町上市で、吉野の大自然と大家族に囲まれて育つ。日本航空客室乗務員を経て、2005年にフリーアナウンサーに転身。これまで様々なメディアにレギュラー出演し、1000人以上のインタビューを担当。歴史好きアナウンサーとして、月刊誌「歴史街道」に執筆、NHK大河ドラマ「光る君へ」特別番組のMCを担当。吉野町観光大使/日本遺産ソムリエ/世界遺産検定2級/マナー・プロトコル検定準1級

申込方法

締切日: 令和6年10月15日(火) (申込フォーム・メール)
令和6年10月11日(金)まで消印有効(往復ハガキ)

郵便番号、住所、氏名、同伴者の人数・お名前をご記載の上、「お申込みフォーム」から、または「メール」、「往復ハガキ」でお申込みください。 ※複数名の申し込み可

申込フォーム



往復はがき宛先

〒102-0074
東京都千代田区九段南3-8-13丸中ビル7階
吉野大峯シンポジウム事務局宛

※10月11日まで消印有効

メール宛先

yoshino@anyjapan.net (吉野大峯シンポジウム事務局)

●お問合せ: yoshino@anyjapan.net(吉野大峯シンポジウム事務局)

※定員になり次第締切とさせていただきます。
※ご記入頂いた個人情報はご本人の承諾無く「吉野大峯シンポジウム」以外には使用致しません。